

## 千葉開府900年記念事業「ifLink オオギリワークショップ」を開催します！ ～ゲーム感覚でアイデア発想しながら日常の困りごとを解決しよう～

千葉市では、次世代の産業を担う子どもの起業家精神（アントレプレナーシップ）を育む機会を創出するため、ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba に参画しています。

この取り組みの一環として、「ifLink オオギリワークショップ」を開催しますので、お知らせします。

### 1 概要

一般社団法人 ifLink オープンコミュニティが提供するアイデア発想ワークショップです。日常に潜んでいる課題の発見から解決のアイデア発想までをカードを使ってゲーム形式で体験することで、アントレプレナーシップを育みます。

参加者は、提示された状況の中で生じる困りごとを想定し、その解決策について「IF（もし～したら）」と「THEN（～する）」を組み合わせ考えていきます。課題発見から解決までのアイデア出しを通して、イノベーションの基となる自ら考え・行動する力を身につけることができます。

### 2 内容

#### （1）開催日時

令和8年1月25日（日）13：00～15：30

#### （2）会場

市役所3階 XL会議室301

#### （3）参加対象

市内在住または在学の小学3年生～中学3年生（定員30人・先着順）

※小学生については保護者または中学生以上の兄弟との参加となります。

#### （4）参加費

無料

#### （5）申し込み方法

1月18日（日）までに電子申請でお申し込みください。

【URL】[https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/koyosuishin/iflink\\_ohgiri2025.html](https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/koyosuishin/iflink_ohgiri2025.html)



#### （6）取材について

当日の取材を希望される場合は、1月22日（木）までに雇用推進課（電話245-5341）へご連絡ください。

### 3 主催等

主催 ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba

＜本企画担当＞

株式会社プロシードジャパン、千葉市

共催 一般社団法人 ifLink オープンコミュニティ

#### ＜参考＞

##### 1 アントレプレナーシップ教育について

次世代の経済産業界を担う人材育成を目的として、起業家の生き方や精神（アントレプレナーシップ）をさまざまな体験から学ぶことで、若者が社会における自分のあり方や困難に対峙する力を学ぶものです。

変化に柔軟に対応し、自らの力で社会にある課題を発見し、その課題に対して自分の意見を持ち、解決手法について積極的に発信し、共感を得られる人材を育てることが重要になります。

子どもたちが探究心、課題発見力、創造性、実行力、チャレンジ精神、積極性、柔軟性、コミュニケーション能力などさまざまな能力を培うとともに、地域との関わり方や経済・金融の知識なども身につけることを目的としています。

##### 2 ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba について

小・中・高校生向けの教育活動や普及啓発などを、産学官のコンソーシアムで一体的に展開し、地域全体としてアントレプレナーシップ教育に取り組む文化や土壌を作り、将来の産業人材の育成を推進する企業・大学・自治体等で構成される団体です。

【URL】 <https://seedlings.jp/>

会員数 18 団体、8 人 ※五十音順、令和 7 年 12 月 1 日現在

・企業・団体

公益財団法人イオン環境財団、特定非営利活動法人企業教育研究会、303B00KS 株式会社、JFE スチール株式会社（東日本製鉄所千葉地区）、株式会社 SciEmo、一般社団法人 Spice、株式会社 ZOZO、株式会社拓匠開発、株式会社千葉銀行、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社プロシードジャパン、株式会社 miraii

・教育機関

おおぞら高等学院千葉キャンパス、神田外語大学、敬愛大学、千葉経済大学、国立大学法人千葉大学

・その他

千葉市および個人会員



##### 3 ifLink オオギリについて

IoT（モノのインターネット）を活用して身近な課題の解決アイデアをゲーム感覚で発想するワークショップ形式のツールです。大喜利のように「IF（もし～したら）」「THEN（～する）」の形で「どこで・誰が・どんな困りごと？」というお題に対し、IoT デバイスやサービスを組み合わせた解決策を発想し、イノベーションや問題解決能力を育むことを目的としています。